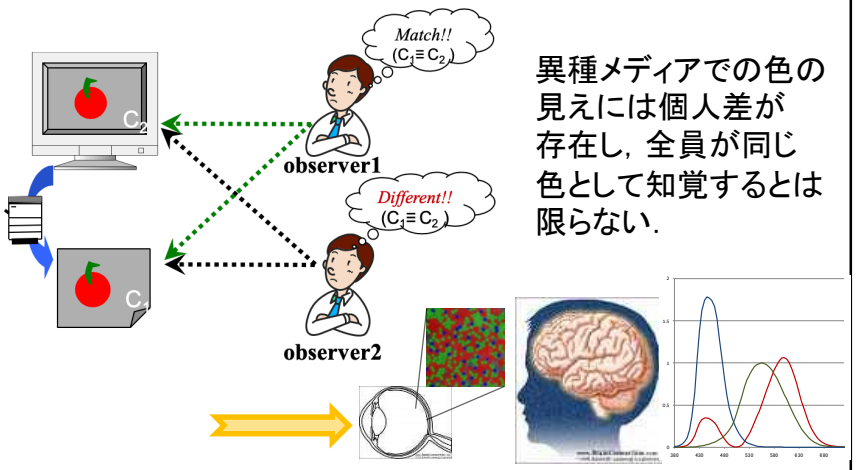
人間の感覚・感性を科学的・工学的に測定・評価する

キーワード[視覚情報処理，色彩科学，照明工学，画像工学]

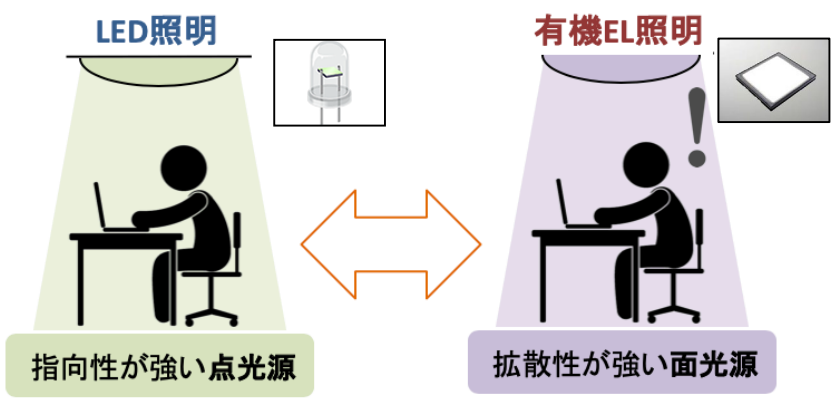
教授　山内 泰樹

色知覚メカニズムにおける個人差の定量化



異種メディアでの色の見えには個人差が存在し，全員が同じ色として知覚するとは限らない．

照明の快適性評価



内容：

人間の感覚や感性は，言葉で表すのですら難しいことが多いですが，それを科学的に捉えようとすると，定量的に表すことが必要になります．例えば，色の見え方は人によって違うということは知られていますが，個々の波長の光でどれくらい違うのか，ということを表記できないと工学的には応用できません．
照明光による環境も，「快適」とはどういう条件が満たされれば実現できるのか，光源の種類による影響はどうなのか，我々がどのように感じ，生理的にはどういう応答をしているのか，快適照明空間を提案するためには感覚を定量的に表現する必要があります．

現在，このような感覚を定量化する手法として，「心理物理実験」と呼ばれる手法をメインに用い，それと合わせて心拍や脳波などの生理的応答や生理的構造との関係から，問題解決の道を探っています．

アピールポイント：

感覚や感性をしっかりと定量的に表現することは，より住みやすい社会を実現する上で，不可欠なことだと思っています．それに少しでも貢献できるよう頑張ります！

分　　野：情報科学
専　　門：視覚情報処理，色彩科学

E-mail：yamauchi@yz.yamagata-u.ac.jp
Tel&Fax ：0238-26-3346

HP：https://www.yamauchi-lab.net/